

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



# 遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ~なかよく 明るく つよく正しく~

## セネガルってどんな国? ~6年生~

6月19日(金)、6年生は総合的な学習の時間に進めている「国際理解」の学習の一環として、昨年度からセネガルに JICA 海外協力隊として派遣されている長尾先生とオンラインで交流しました。

長尾先生から、セネガルのくらしや学校の様子、文化について、写真や体験を交えながら分かりやすく伝えてもらいました。セネガルでは3か月半もの長い夏休みがあり、宿題もないことを知った子供たちからは、「いいなあ。」「うらやましい。」といった声も出ていました。一方で、暑い日には気温が45℃ほどになることや、エアコンのない教室で学習していることなど、日本との違いに驚く様子も見られました。

交流の中では、6年生からの質問にもたくさん答えてもらいました。「人気のあるスポーツは何ですか。」「世界遺産にはどんなものがありますか。」「どうしてフランス語を学んでいるのですか。」など、子供たちは興味をもったことを積極的に質問し、セネガルへの理解を深めることができました。

また、長尾先生は、現地での生活を通して心がけていることとして、「違いを受け入れること」「相手をリスペクトすること」の大切さを子供たちに伝えました。国や文化、考え方が違って、相手を尊重し認め合うことは、人と関わりながら生きていくうえで欠かせないことです。今回の交流を通して、子供たちは世界の広さや多様な価値観に触れるとともに、これからの社会を生きていくうえで大切な心のあり方についても学ぶことができ、貴重な時間となりました。



6年生 セネガルの長尾先生とオンライン授業の様子

# 真庭プレゼントコンサート2026

6月15日(月)、エスパホールで「真庭プレゼントコンサート2026」が開催され、本校の5・6年生が参加しました。今回は、マリンバや木琴、鉄琴、ドラムなどの打楽器を中心としたプロの演奏家による迫力あるステージを鑑賞しました。ジョルジュ・ビゼー作曲「ファランドール」や、久石譲作曲 映画『ハウルの動く城』より「人生のメリーゴーランド」など、子供たちにも親しみのある名曲が披露され、美しい音色や力強いリズムに聴き入る姿が見られました。また、演奏に合わせて手拍子や足拍子で参加するコールアンドレスポンスの場面では、会場全体が一体となって音楽を楽しみました。本物の芸術に触れ、音楽の魅力や楽しさを存分に味わう貴重な機会となりました。



## ミニトマトを育てよう～2年生～

2年生は生活科の学習で、ミニトマトを育てています。子供たちは毎日、生長していくトマトの様子をじっくりと観察し、「葉っぱが前より大きくなった」「くきがチクチクする」など、気づいたことを記録用紙にまとめています。実際に見たり、触れたりしながら、自分の手でトマトの絵を描き、感じたことや発見したことを言葉で表しています。

タブレットを使えば簡単に写真を残すこともできますが、大切にしたいのは、自分の目でよく見て、自分の手で確かめることです。便利な時代だからこそ、実物と向き合い、細かな変化に気づき、自分の言葉や絵で表現する学習活動を大切にしていきたいと考えています。



## 職員研修

6月17日(水)は、全学年を5校時で一斉下校とし、「教育課程柔軟化サキドリ研究校」の取組の一つとして職員研修を実施しました。今回は、ノートルダム清心女子大学の赤木雅宣先生を講師としてお招きし、国語科の授業改善について学びました。単元を通して育てたい力を明確にした指導の在り方など、多くの示唆をいただきました。今回の研修で得た学びは、国語科にとどまらず、他の教科の授業改善にも生かせるものであり、大変有意義な時間となりました。

